

京都銀行協賛事業

高等研公開講演会

テーマ

洛中洛外図を楽しむ

～上杉本(狩野永徳筆 国宝)を中心に～

日時

2008年5月31日(土)

14:00～16:00(開場:13:30)

講師

山本 英男

(京都国立博物館美術室長)



高等研風景

会場

国際高等研究所 レクチャーホール

●対象:高校生以上 ●入場:無料 ●定員:150名

- ★講演会ご参加には、事前申込の必要はありません。当日の開始時間までに、会場へお越しください。
- ★定員を超えた場合、TVモニターでご覧になっていただくこともございます。
- ★駐車場をご用意しておりますが、係りの指示に従ってのご駐車をお願いいたします。

問合せ先

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地 (財)国際高等研究所「山本講演会」係
電話:0774-73-4000 FAX:0774-73-4005 E-mail:lec0531@iias.or.jp<日・月・祝休>

洛中洛外図を楽しむ

～上杉本(狩野永徳筆 国宝)を中心に～

- 講師： ^{やまもと ひでお} 山本 英男氏 京都国立博物館美術室長
- 略歴： 山口県立美術館学芸員、京都国立博物館学芸課美術室員、同主任研究官
京都国立博物館保存修理指導室長、京都大学大学院人間・環境学科客員助教授



専門： 日本中近世絵画史

- 著書：
- 『仁和寺大観』(共著 法蔵館 1990)
 - 『日本美術全集』17(共著 講談 1992)
 - 『皇室の至宝』9(共著 毎日新聞社 1992)
 - 『日本水墨名品図譜』3(共著 毎日新聞社 1992)
 - 『日本美術全集』12(共著 講談社 1992)
 - 『時代屏風聚花続編』(共著 紫紅社 1993)
 - 『日本水墨名品図譜』4(共著 毎日新聞 1993)
 - 『日本の美術』323(単著 至文堂 1993)
 - 『日本水墨名品図譜』1(共著 毎日新聞社 1993)
 - 『ボストン美術館日本美術調査図録第一次調査』(共著 講談社 1997)
 - 『日本美術館』(共著 小学館 1997)
 - 『室町時代の狩野派』(単著 中央公論美術出版 1999)

- 『禅と天神』(共著 吉川弘文館 2000)
- 『時代屏風聚英』(共著 紫紅社 2003)
- 『狩野派決定版』(共著 平凡社 2004)
- 『日本の美術』485(単著 至文堂 2006)
- 『桃山絵画の美』(共著 平凡社 2007)

講演要旨

ご存じのように、洛中洛外図屏風とは「洛中」と「洛外」、つまり京都の市中と郊外を合わせ描いた屏風絵のことです。その起源は古く、16世紀初め頃に禁裏の絵所預の地位にあった土佐光信が越前の守護・朝倉貞景の求めによって制作した「京中の新図」(屏風)が、史料の上では最も遡るとされています。

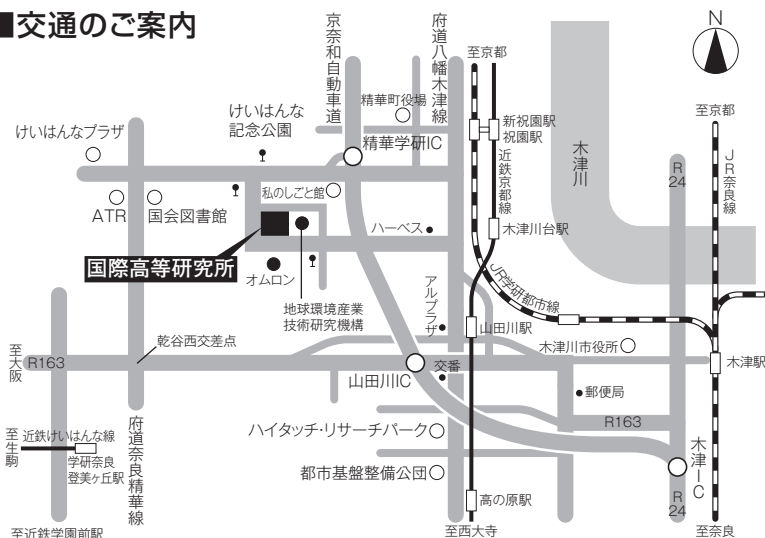
それ以降、数多くの洛中洛外図屏風が描かれました。なかでも桃山時代最高の絵師、狩野永徳が描いた国宝「洛中洛外図屏風」(通称・上杉本 米沢市上杉博物館)は、織田信長が上杉謙信に贈った作品として夙に有名です。金雲の合間に姿を覗かせる京の町並みと、その中に描き込まれた二千数百名もの人々。耳を澄ませると、いろんな物音や話し声すら聞こえてきそうなほど、活き活きと捉えられています。思うに、この絵ほど都の賑わいを観る者に強く感じさせる絵画はないでしょう。

本講演では、洛中洛外の歴史に触れたのち、上杉本の細部をご覧いただきながら、当時の人々の生活の様子をご紹介しますと思います。



小川通りの歳末風景(上杉本より)

交通のご案内



■鉄道ご利用の場合

- ◎近鉄京都線:新祝園(しんほうその)駅※急行停車
JR学研都市線:祝園(ほうその)駅下車、タクシーにて7分。
又は奈良交通バス「光台循環内回り」「学研奈良登美ヶ丘駅行」にて「けいはんな記念公園」下車、南へ徒歩5分。
- ◎近鉄京都線:山田川駅※普通のみ停車
下車、タクシーにて7分。又は奈良交通バス「木津川台住宅行」にて終点下車、西へ徒歩5分。
- ◎けいはんな線:学研奈良登美ヶ丘駅下車、
奈良交通バス「祝園駅行」にて「けいはんな記念公園」下車、南へ徒歩5分。

●奈良交通バス 時刻/料金お問い合わせ
奈良交通テレフォンセンター TEL.0742-20-3100

■お車ご利用の場合(駐車場有ります)

- ◎京都方面より
京奈和自動車道「精華学研IC」を出て右折、
精華大通りを西へ1km、T字路を左折200m
- ◎奈良方面より
R163より府道八幡・木津線北上、近鉄木津川台住宅地前交差点
左折(左折車線あり)約2km直進